

かわばたの風

発行所：社会福祉法人愛篤福祉会
 発行日：令和4年3月31日
 住 所：北海道夕張郡由仁町川端1002
 電 話：0123-85-2246 FAX：0123-85-046
 メール：kakas_01@aitokufukushikai.jp

人間は残酷な生き物である。

理事長 遠藤 節子

▼新年度から、毎月一回職員の研修を行うことにした。理由は「専門に固執する職員を作らないため」だ。社会の出来事に疎い人間では困る。知らない事は恥ではない。知らない事をなおざりにしておく方がむしろ恥ずかしい事だ。今、自分の身の回り何が起こっているのかそれらを考える力を持つことが重要だと思っ

ている。
 その一環として毎朝行う朝礼にも変化が見え始めた。福祉の話のみならず、戦争の話などが会話に出るようになった。ウクライナとロシアの出来事に私たちは何を感じるのか、死んでゆく人の数が増えていく度に心が麻痺していきそうだ。あたかもコロナの感染者の数に似て慣れていく怖さを感じる。フェイクか現実かの情報の中で、プロパガンダの怖さを私たちは知らない。ただ、人を殺さないだけで私たちは自分の心に潜む悪を見つめたことがあるだろうか。同時に善の心を見つめたことがあるだろうか。ただ、今世界で起きている残忍な行為は普通の人間がやっていることである。「内省」する心がなければ自分が正しいと思うことしかできない。弱い人間ほど仲間意識が強く正当化する論理にはまっぴい。手に負えないのは「これでいいのか」という疑問を持たない思考停止状態の人が無能集団と化していく現実である。
 ああ、ウクライナの春よ。

22日(火)からは“GO TO イート”も再開された北海道ですが、3月31日現在、道のコロナ感染者は2,000人を超え、その後も増え続けています。マスクの着用、手洗い・消毒、部屋の換気を怠らず、気持ちを締め新年度を迎えたいと思います。



4月の予定

- 4日 新年度始業式
- 5日 工賃支給日
- 18日 避難訓練
- 25日 工賃会議
- 30日 新聞発行
- 他、個別支援説明会



▼先日、濱口竜介監督『ドライブ・マイ・カー』が米アカデミー賞を受賞し、撮影地の赤平市と音別市が「町おこしの起爆剤に」と盛り上がるニュースを眺めていました。KAKA's FACTORYのある由仁町と同じ空知地方の出来事ということもあり、インターネットで作品について調べてみたり、村上春樹の小説を読んだり、多少の影響を受けています。
 「舞台は北海道」と一色単にされていた映画の中には、『幸福の黄色いハンカチ』をはじめ『北の零年』『鉄道員(ぽっぽや)』等、空知ゆかりの作品が多くあることを知り、「コロナ明けにでも、一度行ってみたい」と密かに企んでいます。

もう一つ、今回のニュースが思い出させてくれた映画に、山田洋次監督『学校』がありました。空知の養護学校を舞台に知的障がい児と養護教員の葛藤が描かれたこの作品を、KAKA'sの利用者さん達を頭に浮かべながら観ました。もう二十年余り前の作品ではありますが、描かれる教員の苦悩に共感し、日頃の支援について、振り返る時間を持つことができました。

支援員 加藤 友設



風だより

田んぼや畑の積雪上に融雪剤米糠や灰を機械で撒き始めると、春が一気に駆け来て、繁忙期の農家が始まります。由仁町と栗山町とで『さらち南さつまいもクラブ』が立ち上がり、【由栗いも】(ゆっくろいも)と銘を打ったさつまいもがブランド化の活動を通して、全道・全国に向けてアピールしてお話になっていきます。一昔前までは、北海道ではさつまいもは取れないと言われていたのに、育苗技術の進歩や温暖化の影響なのでしょう。大変おいしいさつまいもが取れるようになった。



<寄附・物品を寄贈いただいた方> 山本 輝人 様

ありがとうございました。

3月



ひな祭り



★スペシャルメニュー★

冬から少しずつ春へ...



みなさまのしゃしんは ほんにんの りょうかいをいただいて つかっています